

きずな

賀春

公益社団法人 つくば市シルバー人材センター
健康で 楽しく 幸せに

2023.01

Vol.041



目次

-
- | | |
|--------------------------------|--|
| ●年頭のご挨拶
・小杉理事長
・五十嵐つくば市長 | ●あおぞら市場初参加
●女性のつどいセミナー
●奥久慈りんご狩り |
| ●令和4年度と令和5年度について
●センターの活動 | ●障子・ふすま貼り勉強会
●太安万侶 |

〈年頭のご挨拶〉

【小杉理事長】



明けましておめでとう
ございます。
昨年は、コロナ禍の状
況の中で、設立30周年記
念式典、総会、部会、委
員会等が無事、開催出来たことは、ひとえ
に皆様のおかげであると、厚くお礼申し上げます。
近年、シルバー人材センターを取り巻く環境
が、大きく変わっています。

高齢者の雇用安定法の改正(令和3年4月施行)による、企業の70歳までの雇用義務の努力化により、60歳代のシルバー入会者数の減少及び「同一賃金・同一労働」による高齢者と若手の差別化が増大するなど、厳しい環境があります。今年のご干支は「兎」です。この厳しい環境を、正面から受けて、脱兎のごとく、これを飛び越えて、そして、人生100年時代を踏まえ、高齢者ならではの就業拡大(含む新規事業)を推進し、会員拡大、及び、魅力あるシルバーを目指して、全員が、一丸となって頑張ってください。

今年こそ、コロナ終息の年でありませうこと、そして、皆様にとつてますますご健康で明るい1年でありますようお祈り申し上げます。



【五十嵐つくば市長】



新年あけましておめでとう
ございます。
日頃から、シルバー人材センターの会員の皆様には、つくば市政に多大なるご協力と深いご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。
いまだ新型コロナウイルス感染症が市民生活へ影響を与え続けていますが、皆様の感染防止への協力により、拡大を抑えることができていることに、改めて感謝申し上げます。つくば市では、昨年にも新型コロナウイルス感染症への対応を最重要課題と位置づけ、自宅療養者への無償での物資配送、市独自のPCR検査など多様な施策を実施してきました。今後も、場面に応じた適切な感染防止策を進めていきますので、引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

つくば市は、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して、自分らしく生き生きと暮らせるまちを「ともに創る」ことを目指しています。このような中、会員の皆様がまさに、日々生き生きと様々な活動をされている姿は、つくば市に活力を与え、よりよいまちづくりのための大きな力となっています。

シルバー人材センターにおかれましては、引き続き、地域を支える一員としてさらに多くの方々に会員となつていただき、生き生きと暮らせるまちの実現に向けて、ともに取り組んでいきます。今後のご活躍を期待しています。

結びに、一日も早く新型コロナウイルス感染

症が収まるとともに、つくば市シルバー人材センターのますますのご発展と会員の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

〈令和4年度を振り返り、令和5年度に期するごとく〉

【小杉理事長】

一時小売状態にありましたコロナ禍が、晩秋頃から第8波として感染拡大する中で新年を迎えました。令和4年度もコロナ禍に日本全体の政治や経済が翻弄され、わがセンターも事業や活動に大きな影響が出ました。このような中で、7月から新しい理事会発足、この半期の活動を振り返り、そして新しい令和5年度に向けてどのような考え、そして行動が求められているかを考えてみました。

センターの実績を高めるためには、会員の拡大と就業の拡大が必須です。

1. 会員拡大については、「中期事業計画に基づく目標会員数700人を目指す」。

令和4年度の実施状況は、
① 定例及び地区に出張入会説明会・審査会の完全実施。
② 普及啓発促進月間のポスティングの実施。
③ 女性限定説明会の実施(県シ連との共催の女性の集い、含む)。

令和5年度においては、
① 各地区における出張入会説明会・審査会の増強(5回を8回にする)。
② 女性限定の説明会・審査会を3地区で行う。

増強(5回を8回にする)。

② 女性限定の説明会・審査会を3地区で行う。

(注) きずなの中では「つくば市シルバー人材センター」を「センター」と称する場合があります。

- ③ 会員による紹介運動を実施（紹介による入会毎にクオカードを提供）。
 - ④ 同好会等の推進やPRによりシルバーの魅力UPを図る。
 - 2. 就業拡大については、「新規就業先20社を目標とする」。
 - 令和4年度の実施状況は、
 - ① 工業団地内（市内9ヶ所）の企業へのPRを実施。
 - ② 11月、就業開拓委員会（8名）を発足して就業開拓を実施。
 - ③ 理事長・副理事長による会員からの就業相談の実施。
 - ④ つくば市長との交渉に向け要望5点をまとめ、提出した。
 - ⑤ 未就業者へのアンケートを実施の予定。
 - 令和5年度においては、
 - ① 理事長・副理事長による就業相談を続行する。
 - ② 未就業者へのヒアリングを実施する。
 - ③ つくば市からの仕事斡旋業務の拡大（高齢者対象の業務増加）を図る。
 - ④ 草刈・剪定、障子・襖張りなどの「技術講習会」を増やし、後継者を育成する。
 - ⑤ 工業団地へ再アプローチし、就業拡大の成果を結び付ける。
 - ⑥ SDGsとして、新規事業をつくば市とコラボして展開を図る。
- 以上、会員拡大、就業拡大の各目標の完遂を目指し、理事及び会員、事務局が一体となって推進してまいります。

令和4年度前期（4月～9月）実績

令和4年度前期における実績を表1に示しました。

これによると会員数の推移は、令和3年度と比較して男女とも減少し、合計で36人の減少となりました。3月末での退会者数が多く、それを回復できていない実態が浮かびあがっています。コロナ禍と退職年齢が65歳となり、さらに企業は働く意思のある希望者を70歳まで雇用する努力義務などの制度化により入会希望者が減ったものと考えられます。今後もこの傾向が続く可能性もあり、注視する必要があります。事業収入では、令和3年度に比べ請負・委任事業が低下し、派遣事業で増加しました。請負・委任での減少は、草刈り班、剪定班の班員の高

表1

令和4年度前期の実績（4月～9月）		
	令和3年9月	令和4年9月
請負・委任（円）	66,273,489	65,790,239
派遣（円）	90,197,158	94,450,813
合計（円）	156,470,647	160,241,052
会員 男（人）	455	425
会員 女（人）	213	207
合計（人）	668	632

齢化と作業員の減少によって就業日数が低下している可能性があります。低下した原因を分析し、対処するとともに後期の実績回復を期待します。派遣事業は若干増加しておりますが、就業開拓などを通じてさらなる実績の積み上げを期待します。（広報 尾台昌治）

◆やまびこ◆

2022年12月8日にこの原稿を書いている。2022年2月ロシアによるウクライナ侵略直後、ウクライナから天気予報の放送がなかったというニュースがいつも気になっていた。日本では太平洋戦争開戦と同時に気象報道が管制され、再開が敗戦後の1945年8月22日（諸説あり）という。戦後の日本では日常生活の復帰で庶民はホッとしただろうが、いま、ウクライナは理不尽な侵略をつづけるロシアと戦争の真っ最中。平和がもどるまで、ウクライナを応援しよう！

〈新年のごあいさつ〉

あけましておめでとうございます
本年もひきつづきご協力を賜りますように
お願い申し上げます



公益社団法人つくばシルバー人材センター役員一同
事務局長および事務局職員一同

〈センターの活動報告〉

【理事会】

令和4年9月15日、第6回理事会が開催され、以下の案件が報告、討議がされました。事業実績として、8月末、対前年比増収増益が見込まれ、順調に推移しております。また、総務部会、事業部会、地区統括部会、各委員会等の報告並びにその承認事項について討議し、承認されました。それから、独自事業のインボイス対応案及び10月1日からの最低賃金の変更（911円）に伴い、派遣の賃金の変更や来年度の配分金の変更について報告がありました。また、第4回理事会で承認されました職員の1名の採用したこと及び経緯について報告がありました。

【就業開拓委員会】

令和4年11月2日、第1回就業開拓委員会が開催され、下記委員会メンバーの委嘱及び班別役割分担を決定した。（理事：5名、会員：3名）

班	役割項目	A	B	C
担当	①金融機関…17先 ②特養老人ホーム他…13先	小杉	酒井	寺田
担当		深谷	磯部	S P 小杉
担当		土田	村野	S P 深谷
担当			郡司	

※S Pはサポーター

【事業部会】課題と今後の対策

令和3年度に草刈り・剪定作業就業中の重篤事故件数は全国で27件も発生しており、そのうち死亡事故数は20件にも上ります。

つくば市内では夏の暑い季節に、中古車洗車作業中に死亡するという痛ましい事故が発生しました。我がセンターでは令和4年度も草刈り・剪定作業中に、会員の不注意による事故が数件発生しています。特に会員の皆様にとって年末は、多忙を極め就業時の事前打合せや会員同士の安全チェック等の基本的対策を怠りがちになり、事故へ繋がると考えられます。もう一度初心に戻り事故防止対策の徹底や事故原因の把握と意識改革など、安全で適正な就業への取り組みの強化（安全就業に関する研修等）を図っていきたいと思います。

一方、請負事業（草刈・剪定）における会員の高齢化や新規会員の入会が、ほぼ無い状況が続く中、受注件数は増加傾向にあります。このような状況が続くと会員皆様の健康悪化や体力低下へと繋がり、重大な事故発生の原因になります。この大きな課題を早急に解決しなければならぬと考えます。一刻の猶予もない状況の中、事業部会一丸となって取り組み解決策を提案していきたいと思えます。（事業部会長 酒井清貴）

【総務部会】

令和4年11/8第4回総務部会（写真）での主な報告事項は次の通りです。（1）10/28新入会員セミナーでは、講師が接遇の基本、苦情対応、情報管理など5つの要点をあげ、さらに

平日頃の心構えの大切さを説く。また新入会員セミナーのアンケート結果の報告あり。（2）各分科会の役割分担／規程集、研修・講習会、会員拡張、中期事業計画推進、会員交流の推進についての確認。委員の中から、中長期計画の再見直しと実行について問題提起あり。協議事項では、中期事業計画に沿った会員拡大についての協議。



【地区統括部会】団地でポストイング

センターのPRと新規会員入会の勧誘活動の一環として、同部会員により茨崎の宝陽台団地各戸へのポストイングが行われました。地道な活動ですが大切なことだと感じました。



地区統括部会の運営で困ったことは

地区統括部会は、会員と密な関係にあり、とても身近な組織です。部会は、親睦活動だけでなく、R07中期計画の大きな柱となって、会員の増大、新規事業の開発、センターの魅力増大などの役割を担っています。気になるのは、会員の事業活動に対して報酬がないことが多いという現実です。会員は崇高な目的のために無償のボランティアを惜しみません。しかし、いつも毎回高いガソリン代を負担して汗を流すとな

ると疲弊してしまいます。財政を圧迫しない範囲で、感謝を表す心付けがあつて欲しい。現在の制度を柔軟に使つていく、なければ新たに作つていけばよいと思います。

あおぞら市場2022

11/27秋晴れの下、会員誰もが公平に気軽に参加可能な事業として、第一回「あおぞら市場」を吉沼マルシェに出店して行いました。吉沼マルシェは、村の小さな夏祭りをコンセプトに年5回開催される催しで、かなりの人出が見込まれます。今回は、桜から市川会員と国府田会員、筑波から青木会員、荃崎から土屋会員と磯部会員が農産物を出品。ご家族の応援やおそろ市場委員も参加し総勢13名の大所帯となりました。小田米やバターピーナツかぼちゃ、冬がん、白菜、大根、さつまいもの入れ放題、焼き芋など多様な作物が並びました。自分で丹精込めて作った作物を自らの手で売る喜び、売れた喜びを味わいました。



〈事業部会〉

【女性活躍委員会】

折り紙教室

講師 土田悦子様

参加者17名

作品 6枚の折り紙を使つての立方体と

チラシを使つての袋

折り鶴くらいしか馴染みのない折り紙でしたが、6枚の折り紙からできる立方体やチラシを使つて

こんなかわいい袋ができるんだと奥の深さを感じました。笑いを交えての指導で楽しく有意義な2時間でした。(女性活躍委員長 西原)



【セミナー女性の集い】

母からの愛情 人への思いやり

新規シルバー女性入会活動の一環として、セミナー「女性のつどい〜人生100年時代 あなたはどのような生き方をされますか?」が、令和4年11月16日、つくば市内のホテルグランド東雲で開催されました。主催は(公社)茨城県シルバー人材センター連合会、共催が(公社)つくば市シルバー人材センター。第一部はシルバーの活動VTRと2名の会員が入会の動機や入会後の活動の紹介です。第二部は講演「楽・楽・なかよく充実した人生を!」。講演者は、小倉洋子氏、元NHKアナウンサー、登壇時から女性参加者たちの熱い歓迎がありました。介護支援専門員として高齢者やさ



まざまな福祉の仕事に携わつてこられた体験が、女性陣には身近な問題として共感を得たのでしよう。小倉氏につくば市生まれのつくば市育ち。筑波山で伝統を誇るあの老舗旅館『江戸屋』の娘として、戦後まもなくのお生まれです。母からの愛情と教えが、小倉氏の人間形成に大きな影響を与えたことは、お話の中から強く感じられました。学生時代から福祉・介護に興味をもつて、障害者やハンセン氏病施設へ実習にも参加され、日本におけるケアマネジャーの第一期生になるそうです。家庭教育は大切だが、難しい面もあるとお話に共感。今回はなかなか手応えのある講演でした。

【安全委員会】

令和4年11月現在、剪定、草刈班において毎月何かしらの事故が起きています。幸いなことに重篤な事故は起きていませんが後から検証してみればちよつとした気遣いや日頃から耳にたこができるほど聞かされている注意事項を実践すれば防げる事柄ばかりです。たとえ経験年数が多くても事故は起こします。むしろ経験が多い人ほど事故を起こしやすい傾向にあります。『ケガと弁当は自分持ち』です。一度も事故を起こしたことの無い人もいつ当事者にならないとは限りません。どうぞ一日一日を『ご安全に』(安全委員長 張元政治)



〈独自事業〉

【子育て支援ルームきずな】

開所してから十年目に入りました。コロナ禍の中、細心の注意を払いみんなで頑張っています。年齢を考えると働くことは無理かなと思いがちですが、職場に行くこととあどけない顔が待っていてくれるので、そんなことを忘れて夢中になり、働くことはいいことと、認知症の予防にもなると思って働いております。子供が大好きで、一緒に楽しくお仕事をしてくれ方は非きずなで働いてみませんか。お待ちしています。(小倉)



【自転車部】

自転車の資格取得について。令和3年に続き、自転車安全整備士と自転車技師の試験に小野村さんと池上さんが見事に合格しました。試験を受ける前に筑波大学の作業場で模擬試験を2回実施して試験に備えました。全国で約2000名の受験者があります。合格率は60パーセントの狭き門でした。これからも部員一同技術を磨いて修理や再生自転車の作業に生かしていきます。写真は大学の作業場と修理と販売をする吾妻にあるセンターです。



センターです。

〈会員交流〉

常陸大子でリンゴ狩り

センター会員間の親睦・交流と会員のリフレッシュ推進をはかり、令和四年11月19日に行われた日帰り旅行「大人の遠足 奥久慈りんご狩り」に、60名をこえる会員が参加しました。今回は会員がバス代を負担するだけで、弁当代などの諸費用は地区が負担するため、会員は余力を買い物に振り向けるというフトコロにやさしい旅となりました。地元の常南交通の大型バス二台の仕立てにより無理のないスケジュールと、会員もマスク、手洗いなどコロナ対策により快適な旅となりました。目的地は山地に観光リンゴ園が広がる「黒田リンゴ園」(茨城県常陸大子町)。この日のリンゴ狩りはふじと王林のリンゴ二種類で、もぎ採ったリンゴは重さにより精算する仕組みですが、参加者はかなりの数のリンゴを採っていました。昼食は、手配してあったご当地大子の「軍鶏弁当」を、帰路の「道の駅常陸大宮かわプラザ」でいただきました。これが予想外に軍鶏肉が美味しく、読者のみなさんにもお勧めします。コ



ロナ下の旅行でしたが、笑顔と笑い声の絶えない楽しい旅となりました。

〈学び〜研修・講習・勉強会〉

【障子・ふすま貼り勉強会】

日本家屋ではふすま・障子は伝統的な家具の一部で、これらの貼り作業もシルバーに向けた仕事と考えられます。作業に従事する人材を育成事業として、障子・襖貼り講習会が令和4年11月、つくば市栗原交流センターで行われました。主催が(公社)茨城県シルバー人材センター連合会、共催が(公社)つくば市シルバー人材センターです。講師はベテランの会員2名。受講者は一般の人も含めて県内から15名が参加。二日間にわたり、DVDによる作業の動画鑑賞と、講師が古い紙を剥がして新しい紙の貼り方を実演したり、自分で実際にやってみるという作業を行いました。障子・襖貼りは、需要が確実な仕事です。参加者のみなさんのご奮闘を祈ります。



〈入会説明会・審査会〉

一般の人々を対象にした、センターが定期的に行う説明会です。令和4年10～12月に下記のように実施されました。

(1) 11月10日大穂交流センター、(2) 11月22日茎崎交流センター(写真)、(3) 12月1日市民ホールやたべ。

◇新入会員向けセミナー…10月28日大穂交流センターにて、外部から講師を招き、本年4月以降入会した会員向けに、就業先での接客・接遇力の向上をめざす研修、いわゆるマナー研修です。要点は、接遇の基本、苦情対応の基本、情報管理の徹底、交流分析でコミュニケーション上手になること。毎年2回行う大切な研修です。



〈提言〉

「ガバナンス体制の隘路について」

現状、コロナ禍の終息が見えない環境下では、一人の狭い考えで行動することなく自身の眼力を磨き、多方面から多様な情報を集積し的確な判断と優先順序を見極めながら方針(自身のビジョン)を理事会・各部会・委員会・事務局に示し指導することが重要で。

一方、当センターが公益法人であることに鑑み、まず過去を反省のうえ理事・監事・各役職者及び事務局員ひとり一人の役割を明確にしてP(計画)D(実行)C(確認)A(改善)でスパイラルアップさせる行動こそがそれぞれの義務と責任です。また理事会や各会議では定款・規約に照らして問題ないか、他方進捗状況を確認し、遅れている理由は…等、協議することを教育指導及び調整することが組織の長の重要な役目であり、ガバナンス体制の第一歩です。(福田征男)

〈つくばの街がどく〉

「第74回筑波山ガママつり」(主催…筑波山ガママつり実行委員会／一般社団法人つくば観光コンベンション協会、共催…つくば市・つくば市商工会)が令和4年10月1日～令和5年1月9日にかけて開催され、筑波山×ケロコ軍曹コラボの捺し巡り御朱印やスタンプラリーやグッズ、グルメなどの楽しいイベントが行われました。筑波山や麓のあちこちでイベントのノボリが目につきましたが、今回もあのがまレースが



麓の食事は毎日のように、山におこす。筑波山にこたす。波家「筑波山」のノボリを置いて。写真の処ノボリを置いて。

中止となり残念です。来年こそはと期待したいところです。

「つくば市の遺跡・古墳」

つくば市は、公共、民間によるイベントや講座などが多く、頭のリフレッシュに大いに役立っています。

令和4年10月22日筑波山麓の働く婦人の家で、市教育局文化財課による講座「つくば市の歴史と文化財」旧筑波地区の歴史と文化財について」が開かれました。本市には遺跡の数が632か所、指定文化財が84件(令和4年10月22日現在)あり、国指定で奈良時代常陸国の平沢官衙(筑波郡役所跡)、金田官衙遺跡(河内郡役所跡)や、鎌倉時代小田氏の城館であった小田城などが存在します。働く婦人の家周辺にも遺跡がいくつかあり、すぐ隣りにあるのが市内最大の前方後円墳「八幡塚古墳」、墳丘約91m、6世紀ころと思われる。ただ、発掘調査後に墳丘が盛土整形されてしまったのが惜しい。



働く婦人の家



八幡塚古墳

〈歴史に学ぶ〉

太安万侶の墓

3巻からなる古事記はこういう書き出しで始まります。

「古事記 上巻 并せて序
「臣安万侶言す。それ混沌既に凝りて、氣象未だ効われず。名も無く為も無し。誰か其の形を知らむ。以下」

意は、(臣 安万侶が申し上げます。宇宙の初めでは、混沌とした天地万物の根元が固まりましたが、万物の生命や形は、まだ現れていませんでした。それは名もなく、どういう働きをしているのかもわかりません。ほんとうの形はわかりませんでした。以下)。戦前に日本の歴史教育をうけた人たちはともかく、現在のわれわれにもはや難解な文章です。



多神社本殿

今回太安万侶をとり上げたのは、かつて奈良でおきたニュースにより大いに関心をもったからです。安万侶はこの序を書き、古事記の成立に深く関わっていたのではないかとされる一方、彼の存在はなごらく疑問視されていました。

昭和54(1979)年1月20日奈良県田原本町の山の斜面で墓が見つかり、人骨の下から銅板の墓誌が出てきました。それには住居名のつぎに従四位下勲五等太朝臣安万侶とつづき、養老7年(723年)に亡くなったとあります。これで実在していたのだとわかりました。安万侶は古い氏族の家柄に生まれたようですが、詳しい記録が残されていなかったため、謎の人物とされてきました。太氏一族を祀った多神社が現存するほど、古い家柄です。日本正史と見られる日本書紀に比して、とかく古事記は古代の口マン文学作品とみられがちでしたが、日本の

国家がどのように成立してきたかを、伝承などをつかっ

て作成したのだからと考えば、古事記をみる見方も変わるかもしれません。

古事記について、江戸時代に国学者賀茂真淵が再評価を提唱し、その薫陶をうけて本居宣長たちが国学の再



太安万侶御記念碑

興に大きな役割を果たしました。

令和4年12月4日、筆者は久しぶりに関西へ出かけた折に、多神社を訪れました。たまたま道を尋ねた相手の方が、幸運なことに多神社にゆかりのある地域の古老で、車で案内していただきながら神社の歴史や墓誌発見の経緯を伺うことができました。誌面を借りてお礼を申し上げます。写真は2枚ともその時のものです。(山内)

〈入会説明会・審査会〉

令和5年1月16日から3月15日までの予定です。

月日	時刻	場所
1月12日(木)	13時30分～	大穂庁舎3階 シルバー会議室
2月9日(木)	13時30分～	大穂庁舎3階 シルバー会議室
3月9日(木)	13時30分～	大穂庁舎3階 シルバー会議室

【表紙の説明】

本誌で紹介した奥久慈りんご狩り。手がとどく距離のりんごはすべてもぎ取られていたので、高い枝にあるふじりんごを撮影。

D7000 オート。

